

とよはし 市議会だより

TOYOHASHI CITY COUNCIL

平成27年3月定例会



予算特別委員会の審査(第1委員会室)



議会中継(一般質問)の様子



本会議における代表質問

主な内容

- 3月定例会の概要 ……2~3
- 議決結果 ……3
- いっばん質問 ……4~10
- 陳情 ……6
- 委員会の動き ……8~9
- 6月定例会の開催日程 ……12

ようこそ!! 豊橋市議会へ

豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地 TEL 51-2920 FAX 55-9020
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/gikai/> gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp

No.
298

2015年5月1日発行

いづれもの未来とまちの元気をしつくる、 とよはし創生予算

―平成27年度予算総額2609億円余を可決―

3月定例会は3月2日から27日までの26日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、本会議3日間にわたり14人の議員が一般質問を行いました。

初日は、佐原市長から平成27年度予算の大綱が説明されました。その後、東三河広域連合議会議員の選挙が行われ、7名の議員が投票により選出されました。9日は4人の議員が会派を代表して質問し、10日と11日で10人の議員が一般質問を行いました。

今回の定例会では、平成27年度一般会計予算など予算案21件、職員定数条例の一部を改正する条例など条例案26件、市道

の路線廃止など単行案8件の合計55件の市長提出議案が審議されました。

平成27年度各会計予算案など議案48件と市民から提出された陳情3件については、予算特別委員会が8日間、延べ21時間におよぶ集中審査を行い、陳情1件については、議会運営委員会が審査が行われました。

最終日の27日には審査を終了した議案および委員会への付託を省略した議案5件、追加議案2件を可決等した後、市長から6件の報告を受けました。

続いて、議員提出の委員会条例の一部改正案を可決した後、休憩をはさみ、閉会中の継続調査申出事件を議決し、閉会しました。

平成27年度予算の概要

総額は、前年度比0.2%増の2609億8300万円で、第5次総合計画の前期基本計画における最終年度として「戦略計画」および「分野別計画」の着実な進展を図ることとし、まちづくりにおいて重要な課題となる、地域の活性化や保健・医療・福祉の推進、将来を担う人材の育成、防災・減災対策、環境対策などへ最優先に予算を配分しています。

厳しい財政状況の中、財源確保に努める一方で、緊急性・優先度を考慮し、事業の選択と重点化に努めています。具体的施策は以下のとおりです。

▼産業の活性化とにぎわいの創出

人や地域に活力を生むための事業として、次世代型大規模施設園芸拠点の整備推進、貿易の自由化を見据えた施策の立案、東南アジアを中心に本市農業等の市場の開拓、ものづくりに挑戦する事業者の活動支援、名豊道路七根IC周辺に「道の駅」整備、のんほいパークの魅力向上に向けた整備推進など

▼保健・医療・福祉の推進

市民が健やかに暮らすための事業として、子ども・子育て支援新制度等の推進、こじか保育園の整備、生活困窮者の自立支援、「ええじゃないか」歩

(ほ)の国とよはしプロジェクト)の推進、高齢者の介護予防活動の支援、放射線治療施設等の整備など

▼教育・文化の充実

心豊かな人材を育成するための事業として、穂の国とよはし芸術劇場を中心とした芸術文化の発信、小中学生への優れた芸術などに親しむ機会の提供、くすのき特別支援学校における特別支援教育の実施、自然史博物館での名古屋芸術大学と連携・協力した事業の展開、大清水まなび交流館における生涯学習講座の開催や図書館事業の実施など

▼防災・減災対策の強化

地域防災力を高めるための事業として、校区防災訓練等に要する経費の一部補助および防災リーダー養成講座・フォロワーアップ講座の開催、避難誘導標識等の整備、緊急情報等の伝達の強化、飲料水兼用耐震性貯水槽の整備、災害廃棄物処理の迅速化、緊急輸送道路の液状化対策、消防団の活動用資器材の充実強化など



▼その他の主要事業
女性職員のキャリア形成支援、第5次総合計画後期基本計画の策定、「ええじゃないか豊橋推進計画」の改定、東三河広域連合の事業開始、空家等の有効活用の推進など

▼環境対策の推進
環境にやさしい暮らしを実現するための事業として、住宅の省エネ化推進のための補助制度の新設、再生可能エネルギーの更なる活用推進、汐川干潟保全実践活動の実施、指定ごみ袋制度の導入、自転車利用促進のための通行空間の整備、バイオマス資源利活用施設の建設など

全会一致で原案可決等した議案

- ・平成27年度豊橋市競輪事業特別会計予算
- ・平成27年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計予算
- ・平成27年度豊橋市公共駐車場事業特別会計予算
- ・平成27年度豊橋市地域下水道事業特別会計予算
- ・平成27年度豊橋市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
- ・平成27年度豊橋市水道事業会計予算
- ・平成27年度豊橋市下水道事業会計予算
- ・平成27年度豊橋市病院事業会計予算
- ・平成26年度豊橋市一般会計補正予算(第8号)
- ・平成26年度豊橋市競輪事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成26年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成26年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成26年度豊橋市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成26年度豊橋市病院事業会計補正予算(第2号)
- ・豊橋市の政策推進における部等の役割を定める条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市行政手続条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市情報公開条例及び豊橋市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市職員定数条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市一般職の任期付職員の採用等に関する条例
- ・豊橋市職員の退職管理に関する条例
- ・豊橋市競輪事業施設等整備基金条例
- ・豊橋市野依台地域下水道基金条例を廃止する条例

- ・豊橋市手数料条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市二川宿本陣資料館条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市食品衛生条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市看護職員育児資金貸付条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市企業立地促進条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市地域下水道条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市消防団条例の一部を改正する条例
- ・市道の路線廃止(牛川町29号線以下41路線)
- ・市道の路線認定(牛川町232号線以下108路線)
- ・工事請負契約締結(美術博物館収蔵庫等増築工事)
- ・財産の取得(梅田川霊苑用地)
- ・包括外部監査契約の締結
- ・監査委員の選任
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任
- ・平成27年度豊橋市一般会計補正予算(第1号)
- ・平成26年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第4号)
- ・固定資産評価員の選任

賛否が分かれた議案

○ 賛成 × 反対

()は所属議員数	議決結果	会 派 名							
		自民党 (16)	豊隆会 (6)	公明党 (5)	まちフォーラム (5)	とよはし市民会議 (1)	有志会 (1)	紘基会 (1)	日本共産党 (1)
平成27年度豊橋市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	×	×
平成27年度豊橋市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	×
平成27年度豊橋市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	×
平成27年度豊橋市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
豊橋市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	×
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○
豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	×
豊橋市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	×
平成26年度豊橋市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	×	○	×	○
豊橋市総合老人ホームつつじ荘条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	×

市政全般に対する

いっぱん質問

14人の議員が、市長に質問しました。

代表質問は交渉会派(3人以上が所属する会派)の代表が行うものです。質問順に掲載。

地方創生の取り組みと課題について

自由民主党豊橋市議員 佐藤多一議員



問 地方創生の推進には、関

わる部局の連携が必要であり、横断的な組織、さらに官民連携、東三河地域の連携などへと発展させる必要があると思うが、観光振興、移住・定住の促進、地産地消の推進などを連携して取り組み、情報発信していく体制を立ち上げていく考えについて聞きたい。

答 まちひと・しごとの好循環づくりのため、観光振興、移住・定住の促進、地産地消など部局を超えて、連携して取り組むことは、大変重要な視点であると考えています。

そのため、先月、市長をはじめ両副市長、全部課長級のメンバー200人近くで、石破担当大臣の地方創生メッセージDVDを見て、国の地方創生に対する考え方を幹部全員でしっかりと受け止めるとともに、早速全部局長により構成される創生本部を中心に、組織を超えた検討を始めるなど、全庁一丸となった対応

を進めています。

あわせて、総額3兆円に及ぶ国の地方創生関連予算に対しても、経済界をはじめ関係機関とも調整を図りながら、その獲得に向けて積極的に取り組んでいます。

地方創生に向けた事業の実施においては、民間そして大学研究機関や、さらには働く人たちの協働や広域的な展開も重要なポイントになりますので、個々の政策を推進する仕組みの中に、産学官一体となつて、あるいは広域的に東三河全域で展開するといった連携を支える体制を組み込んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

・平成27年度予算の特徴及び中長期財政見通しと諸課題について

公共施設の在り方とまちづくりについて

豊隆会 堀田伸一議員



問 人口減少を見据えた公共

施設の在り方に対する本市の心構えと、今後のまちづくりの方向性および公共施設白書についてどのように考えているか聞きたい。

答 人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予測されるなど、早急に公共施設の現状を把握し、中長期的な視点をもつて、公共施設の在り方を検討することが求められていることから、本市では、全ての公共施設等を対象に2040年までの長期にわたる計画期間で、更新・統廃合・長寿命化などに計画的に取り組む「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組んでいるところでです。

計画を策定する上では、人口減少あるいは人口構成の変化を見据え、時代のニーズに応じた施設の在り方をゼロベースで検証することが重要であり、また、施設の運営についても、民間活力の

活用や地元地域の力を生かした運営などさまざまな方法を検討していきたいと考えています。

公共施設白書は、公共施設の建築年、面積、構造などのほか、改修履歴や維持管理コスト情報などのデータを集約し、利用状況、運営状況および劣化状況を「見える化」するもので、施設の維持管理の在り方、サービスの提供方法、さらには今後の公共施設の転用や統廃合など施設の在り方を検討する際の資料として活用していきたいと考えています。作成した公共施設白書を公表するなど、市民に丁寧な説明を行いながら、子や孫の世代に胸を張って引き継げる公共施設の計画を定めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・豊橋駅西口駅前地区の今後の整備について
・地球温暖化防止の取り組みについて
・本市のシニアプロモーションについて

健康・福祉の

取り組みについて

公明党豊橋市議員 鈴木 博議員



問 市民の健康寿命を延ばし、医療費削減にもつながる健康マイレージ事業への取り組みについて聞きたい。また、軽度認知障害(MCI)の知識普及に取り組みべきと考えるが、本市の認識について聞きたい。

システムを開発し、参加者自身が健康づくりの取り組みやマイレージの進捗よく状況の確認を視覚的に行い、楽しみながら健康づくりを継続できる工夫を取り入れていきたいと考えています。

答 市民の健康づくりを社会全体で支え、守る環境整備として、健康マイレージ事業は、生活習慣の改善や健診受診などに対して付与されるマイレージを基に、市が発行する優待カードにより、協力店等で各種の特典を得ることで、市民が主体的に健康づくりに取り組むことができるようにするものです。

本市におきましては、「ええじゃないかー歩(ほ)の国とよはしプロジェクト」のメイン事業に位置づけ、「とよはし健康マイレージ事業」として、市民の健康づくりを支援していきます。

さらに、登録や記録の保存、カード発行申請などが簡単にできるように、本市独自のウェブ

軽度認知障害については、認知症は、早期発見・早期対応することにより、症状の進行を遅らせることが可能であると言われているため、認知症予防への行動を促すためにも、まずは軽度認知障害に関する知識や情報の普及が必要となりますので、今後は高齢者が集まるイベントや、認知症サポーター講座などの機会を通じて、周知を図っていききたいと考えています。

その他の質問項目

・まちひとしごと創生への対応について
・「地域包括ケアシステム」の構築について
・本市の福祉施策について

豊橋版総合戦略の

策定について

まちフォーラム 芳賀裕崇議員



問 地方版総合戦略の策定に当たっては、国と地方の役割分担の下、中長期を見通した地方人口ビジョンを策定し、地域の実態の正確な把握と分析に基づいて行う必要があるが、策定の体制と本市の強みを生かした独自色のある施策、また、策定スケジュールについて聞きたい。

から検証していききたいと考えています。
本市の強みを生かした独自色のある施策は、全国有数の先進農業や多様な産業集積、市内3大学をはじめとする知的財産の集積、高度な医療施設や子ども関連施設など、ほかにはない出産・子育て支援機能、さらに温暖な気候や交通の利便性といった地理的優位性など、本市の強みを生かした施策や仕組みづくりを独自の取り組みとして想定しています。

答 本市の人口は長引く出生数の低迷により既にピークを過ぎ、長期の減少局面に入っています。こうした厳しい現状について市民の皆様と認識の共有を図るとともに、総合戦略の策定に当たっては、これまでの産学官に加え、金融機関および労働団体など、これまで以上に幅広い関係者で構成する総合戦略推進協議会を立ち上げ、地域の産官学金労の各界から意見を伺いながら、人口減少の克服に向けた目標や施策の基本的方向を定めていき、施策の効果についても外部


策定のスケジュールについては、国や県の動きと歩調を合わせる部分もありますが、新年度早々にも総合戦略推進協議会を設置し、夏までには2060年を見据えた人口ビジョンをつくり、秋にはそれを踏まえた豊橋版総合戦略の全体像を示していきたいと考えています。

ホームページのご案内

本号で取り上げた3月定例会の一般質問や委員会での議案審査など、会議内容は平成27年6月から閲覧できます。

豊橋市議会ホームページから、本会議、常任委員会、特別委員会の会議録を読むことができます。

- ・本会議 平成7年5月～
- ・各委員会 平成11年5月～

※一般質問の録画中継  は平成23年6月分からご覧いただけます。

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/gikai/>

市議会ホームページは
こちらから



本市の消防体制の

取り組みについて

豊隆会 向坂秀之議員



問 東三河地域では、119番通報や出動指令などの通信指令事務の共同処理をしております。強い連携が図られているが、大規模な火災、高速道路

における事故の対応、市境付近の災害、また自然災害等大規模災害時の消防広域連携の取り組みについて聞きたい。

答 災害時の連携としては、東三河地域をはじめ、愛知県内、浜松市、湖西市、そして高速道路関係市などと応援協定を締結し、消防力を相互に補充し合い、災害の拡大防止、被害の軽減を図る応援体制を構築しているほか、愛知県防災ヘリの運航や、全国レベルでは緊急消防援助隊の応援体制も確立しています。

このような中、東三河地域では、消防通信指令事務の共同運用によって、東三河全域の災害状況を瞬時に把握、共有できることから、管轄の救急隊が全て出動中で、新たに緊急

性の高い救急事案が発生した場合、隣接地から直近の救急隊を出動させるなど、市域を越えた連携を図っているところ

です。
次に、平常時の業務としては、東三河5市消防本部で行う救急隊員の養成や、救急救命士の研修をはじめ、水難事故、鉄道

事故、特殊災害など、災害時の連携を踏まえた合同訓練の実施、また、予防関係の各種資格取得講習会の開催など、消防、救急、予防と、各分野にわたって連携し、事業を進めているところ

です。
また、消防団関連としては、魅力ある消防団づくりの一環として、本市で行ってきた、地域で消防団員とその家族を応援する消防団応援事業を、東三河8市町村に拡大し、団員確保という共通課題に対し、東三河一体で取り組む体制を整えたところで

介護保険制度の

諸課題について

有志会 牧野英敏議員



問 医療と介護サービスが一体的に提供される体制をつくるのが重要であるが、高齢者の暮らしを支える地域包括ケア体制について、また、医療と介護の連携について聞きたい。

答 急速に高齢化が進行する中、独り暮らしの高齢者の増加、認知症の発症や医療・介護サービスが必要な方など、さまざまな要因で日常生活上の支援を必要とされる方が増えてきています。

地域包括ケア体制は、高齢者の在宅生活を支援するための地域づくりでもあります。第6期介護保険事業計画では、医療や介護による専門的サービスの連携支援体制の構築や、ボランティア活動の育成・支援等、地域包括ケアシステムの土台づくりを進めていきたいと考えています。

高齢者が認知症等を発症しても、安心して住み慣れた自宅

等で生活を継続していくためには、介護サービスや家族の介護だけでは限界があり、医療機関と介護事業所との連携が必要であると認識しています。第6期介護保険事業計画では、在宅医療と介護の連携による高

齢者支援を基本目標の一つに掲げ、医療と介護それぞれの関係者が密接に連携協力できる体制づくりを進めていきたいと考えています。

また、医療と介護の円滑な連携を実現するためには、高齢者の情報の三元化や共有が必要となるため、従来から推進している電子連絡帳の普及と併せ、地域の医療や介護サービスに関する情報を市民や支援者に提供する在宅医療・介護サービス情報マップを作成し、在宅医療と介護の連携支援を推進していきたいと考えています。

その他の質問項目
・本市の人口減少対策の基本認識について

陳 情

- ◆ 豊橋田原ごみ処理施設整備事業に関する陳情及び申入書に係る豊橋市議会の適切な対応を求める陳情
- ◆ 「子ども・子育て支援新制度」予算の確保・増額を求める意見書の提出を求める陳情
- ◆ 豊橋市子ども条例(仮称)制定に関する陳情
- ◆ まちなか図書館(仮称)とまちなか広場(仮称)に関する陳情

これからの

産業振興策について

自由民主党豊橋市議員

伊藤篤哉議員



問 本市の産業が持続的に発展していくための視点であるグローバル化への認識と対応について聞きたい。また、地方創生をけん引する中小企業小規模事業者への振興策に対する認識と対応、および中小企業振興費における補助の支給要件の緩和など、制度の見直しについて聞きたい。

答 少子高齢化が進み、人口減少社会を迎える中、企業のグローバル化は、事業の存続や拡大にとって有効な手段であると認識しています。

本市では、これまで農産物や加工食料品の海外展開を中心に意欲的な事業者への支援を行っており、豊橋ブランドのPR等において一定の成果を得ることができたと考えています。一方、ものづくり分野では、専門機関であるジェトロ等と連携を図りながら、情報提供などを行っています。また、次年度には、植物工場システムの海外展開を見据え

た調査を行う予定です。

中小企業等への振興策については、さまざまな企業活動に対し、総合的な支援をすることが重要であると考えており、積極的に実施しています。さらに、ISOなどの国際規格の認証や特許権の取得等に必要となる経費の一部助成も行っています。

補助制度の見直しについては、中小企業基本法における中小企業の定義は、製造業などで従業員数300人までとなっていますが、限られた財源を有効に活用するため、本市の制度内容には、製造業者の94%を占める100人以下の事業者に重点を置いています。しかし、社会情勢の変化に伴い、事業活動も大きく変化しているため、支給要件等を含めた必要な見直しを加え、ブラッシュアップに努めていきたいと考えています。

その他の質問項目

これから求められる国際交流の在り方について

主権者教育と選挙への

常時啓発について

とよはし市民会議

渡辺則子議員



問 選挙では市民一人一人が主権者として、自ら考え、自ら判断することが求められるが、学校等における年齢に応じた主権者教育の現況と今後の取り組みについて聞きたい。

答 選挙は民主主義の基盤を成すものであり、健全な民主政治の発展のためには、市民一人一人の政治意識の向上を図ることが必要だと考えています。

現在、国において選挙権を18歳へ引き上げる動きが見られる中で、現行の20歳成人と選挙権を得る年齢との乖離が起こる状況への対応として、小中高等学校の教育活動を通して、主権者としての自覚と社会参画していく上で必要とされる思考力・判断力の育成が、一層求められていくものと考えています。

学校ではこれまでも中学生を中心に、生徒総会等の自治的な集会を通して、学校生活や身の回りの課題をテーマに話し

合い、その解決に向けて主体的に行動していく実践力を培ってきており、実際に投票箱を活用した生徒会役員選挙や選挙出前トークによる模擬投票の体験を通して、選挙の重要性の認識と意識の高揚を図っています。

今後、高等学校卒業時に、選挙権を持つことも想定し、子どもも教師も今まで以上に高い意識を持って取り組んでいきたいと考えています。

社会教育においては、現在実施している日常生活に密着した課題を取り上げた講座を再検討する中で、市民や特に若い有権者の政治意識の向上が図られるよう、講座内容の充実や政治に関する啓発を行っていきたいと考えています。

その他の質問項目

・佐原市政7年目の基本方針と諸課題について
・総合的「子ども子育て支援」と「健康なまちづくり」について

議場見学

「本会議場を見たい」「市議会って何をやってるのか知りたい」など興味があったら、議会事務局まで連絡してね。待ってるよ。

○受付場所 東館7階 議会事務局
TEL 51-2920

交通基本条例制定の可能性について

まちフォーラム 廣田 勉議員



問 政府が今後講ずべき交通に関する施策等について定められた交通政策基本計画が本年2月に閣議決定された。計画成立による本市の今後の取り組みについて、また計画にとどまらず、公共交通の利用促進等に関する条例を制定する可能性について聞きたい。

答 交通政策基本計画では、「使いやすい交通の実現」や、「持続可能で安心・安全な交通に向けた基盤づくり」などを基本方針とし、それぞれについて目標と取り組むべき施策を掲げており、本市としては、国・事業者・利用者・地域住民などと連携・協働して、関係する施策に取り組んでいく必要があり、今年度と来年度の2か年で策定する総合交通計画において、交通政策基本計画の内容を踏まえ、実施すべき施策を計画に反映させていきたいと考えています。

条例制定については、公共交通に関する考え方を市民に示

し共有するとともに、交通施策を積極的に進めるために有効であると認識しています。今年度、公共交通の利用促進等に関する条例を制定している他都市の状況を調査したところ、全ての都市で交通に関する基本理念や基本方針を定めるとともに、市・交通事業者・市民等の責務や主要な施策などを定めていました。また、公共交通に限らず自転車利用や道路運送法の地域公共交通会議の設置を規定している都市もありました。

公共交通は、市民・交通事業者・行政が一体となつてつくり、守り、育てることが必要なことから、今後はそれらのことを踏まえ、条例制定に向けて意義や役割を整理していきたいと考えています。

その他の質問項目

・本市の人事管理について
・南海トラフ地震に対する新たな被害想定に対応した本市の取り組みについて
・市民協働のあるべき姿について

産業廃棄物の堆肥化施設について

日本共産党豊橋市議団 斎藤 啓議員



問 豊橋市内で操業されている産業廃棄物の堆肥化施設で造られた生産物が、環境省の課長通知に照らすと廃棄物に相当するのではないかという指摘もあるが、その生産物への認識と、本市の対応について聞きたい。

答 現在、豊橋市内で稼働している産業廃棄物の堆肥化施設は5か所あり、これらの施設には本市職員が定期的に立ち入り、生産物の質の低下や、過剰な保管を招かないように、廃棄物の適正化について監視指導を行っています。

新聞報道されている処理業者が堆肥化施設で製造した生産物については、本市が立ち入り時に、受け入れ廃棄物の内容等、生産肥料の有効性と安全性、肥料としての位置づけなどの観点で調査をしています。あわせて、処理業者は肥料取締法に基づく植生害試験を毎年実施し、3年ごとに農林水産省の

肥料登録を更新しています。

こうしたことから、この処理業者が生産する汚泥発酵肥料は、環境省が示す行政処分指針の廃棄物の該当性の判断に照らし、適正なものと認識しています。

今回の対応については、事実確認や情報を共有するため、愛知県と合同で堆肥化施設への立入調査を実施しています。また、処理業者に改めて汚泥発酵肥料が産業廃棄物から造られていることを認識させ、肥料として有効性がわかる的確な情報や適切な使用方法など、情報提供するように指導しています。

今後においても、廃棄物処理法などの関係法令を遵守させるとともに、産業廃棄物の適正処理に努めるよう、監視指導していきたいと考えています。

その他の質問項目

・現在の経済状況を鑑みての市民生活への認識と対応について
・戦後70年の節目の年の平和行政の在り方について

委員会の動き

環境経済委員会

指定ごみ袋制度の導入及び今後のごみ分別収集体系の考え方について
(1月28日)

まちなか図書館(仮称)整備基本計画(素案)について
(2月12日)

総務委員会

「公共施設等総合管理計画」策定について
公契約のあり方について

豊橋市文化振興指針の改訂中間報告
(2月13日)

建設消防委員会

豊橋市総合交通計画(仮称)について(中間報告)
(2月17日)

バイオマス資源

利活用施設について

結基会 寺本泰之議員



問 本事業はプロポーザル方式で業者選定され、応募した3グループのうち、一番安いグループより14億円高い提案価格の業者が選ばれている。この提案価格は公表されているが、評価の6割を占め、業者選定の根拠となる各参加グループの提案書を一部公開、非公開とする理由を聞きたい。

事業で活用する機会はありませんが、今後事業者は、同種のPFI事業の応募において提案内容を活用することは十分考えられ、公開すると提案書の独自性や優位性が失われ、さらに高度な技術的ノウハウの流出により競争力を失うこととなります。

答 各参加グループの提案書を一部公開もしくは非公開とした理由については、選定グループの提案書は、特定の個人を識別することができ、競争上の地位を害するおそれがある情報、内部管理への不当な干渉となるおそれがある情報の記載がある部分については、豊橋市情報公開条例第6条第1項第1号または第2号に該当するものとして非公開とし、それ以外の部分については公開としました。

一方、選定されなかったグループの提案書については、本



バイオマス資源利活用施設イメージ

その他の質問項目
・本市の入札制度及び入札不調について

人口減少に対する

取り組みについて

まちフォーラム 星野隆輝議員



問 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への対応で、地方人口ビジョンおよび地方版総合戦略の策定に向けた現在の人口動向分析と対策をどのように考えているのか、また人口減少社会における豊橋市が将来目指すべき人口規模についての考えを聞きたい。

的で安定的に働くことのできる場の確保に重点を置いた取り組みを進めたいと考えています。

本市が目指すべき人口規模については、国は、医療・介護・教育など高度な自治体機能を維持し続けるためには、少なくとも人口30万人程度が必要と考えられています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2060年における本市の人口は28万2000人と予測されていて、大変厳しい見通しとなっています。

答 本市では出生者数は減少傾向にあり、死亡者数は増加傾向にあります。合計特殊出生率も1.6前後と全国平均より高いものの、人口維持に必要な2.07とは大きな乖離が見られます。近年では、転入者数よりも転出者数が1千人以上上回り、人口流出状態が続いています。

引き続き人口維持に努めていきますが、行政サービスや都市機能を維持し、将来にわたって持続可能な人口規模についても検討を進めて、示していきたいと考えています。

対策として、若い世代が子どもを持つことへの理想と現実のギャップの解消に向け、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、人口流出に対しては、地域産業の活性化、特に若者にとって魅力

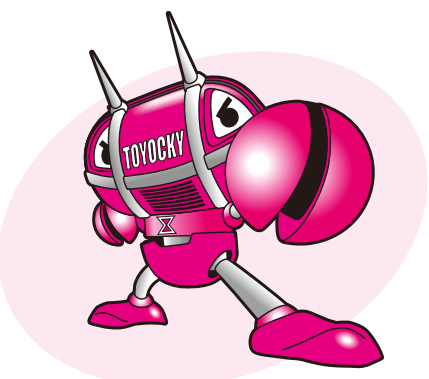
その他の質問項目
・地域づくり政策について

福祉教育委員会

第6期豊橋市高齢者福祉・介護保険事業計画
(2月17日)

地震対策 調査特別委員会

豊橋市地震対策(減災)アクションプラン(案)
(3月2日)



本市における 歯科疾患の予防について

自由民主党豊橋市議員 山田静雄議員



名古屋市、豊田市、あま

問 市、愛西市では条例を制定し、歯科口腔保健を推進しており、また、保健所設置市は口腔保健支援センターを設置することができることになっている。そこで、本市として、条例制定と口腔保健支援センター設置の必要性について聞きたい。

答 現在、本市においては「えじやないか！歩(ほ)の国とよはしプロジェクト」を立ち上げ、一人一人の健康づくりを社会全体で支える健康なまちづくりを目指しています。具体的には、歩く要素を取り入れた「メイン事業」のほか、生活改善や「二次予防を推進する「健康を支える事業」、歩く環境を向上させる「健康を応援する事業」を二本の柱として、多方面にわたる事業を総合的に進めます。歯科保健対策の推進についても、健康を支える事業の重要な取り組みの一つと考えてい

ます。

この健康なまちづくりの実現のためには、市民・地域団体・保健医療関係者・行政が互いに協働して同じ方向を向いて取り組みが必要があると考えており、具体的には、目標を明確にして、それぞれの役割と責務を規定した条例を整備したいと考えています。

次に、口腔保健支援センターについては、歯科に係る種々の課題に対する検討や、検診結果等の情報の共有は、歯科保健推進部会や歯科評価委員会等において、既に行われており、口腔保健支援センターの設置目的はおおむね対応できていると考えています。

今後とも、歯科に関するさまざまな情報の収集に努め、委員会などでの協議を重ね、生涯を通じた歯科保健対策の充実を図っていききたいと考えています。

おもてなしの 市政の取り組みについて

公明党豊橋市議員 沢田都史子議員



おもてなし市政に向けた

問 職員の人材育成と市民をおもてなしする視点からの職場総点検の考えを聞きたい。また、市役所も一つの企業体であるが、豊橋市としてのおもてなし経営への認識を聞きたい。

答 職員の人材育成について、市民サービスをより一層向上させるためには、職員一人一人がおもてなしの心を大事にし、職員の接遇教育を強化していくことが必要であり、人を思いやり、常に相手の立場を考え、課題に気づき、自ら行動できる職員の育成が今後ますます重要になると考えています。

職場総点検については、今年度、採用3年目職員による「おもてなし隊」を結成し、おもてなしの心の更なる意識啓発に取り組んでいます。また、職場での接遇を实地診断した評価を活用して、よい点はさらに伸ばし、改善すべき点は見直すという全庁的な点検にも取り組

んでいます。

今後このような取り組みを継続し、強化していくことで、市民サービスをナンバーワン、オンリーを目指し、おもてなし市政の実現に努めていきたいと考えています。

おもてなし経営については、何事にも常に市民や地域のことを第一に考え、新たな課題にも強い心を持つてチャレンジしていく職員であることが、何よりも重要であると考えています。職員が自ら汗をかき、一人一人が成長することによって、市民の満足度や地域の活力アップに結び付いていくものと考えています。

今後とも、成長意欲を持ったプロフェッショナル職員の育成に努め、豊橋市ならではの市民満足度の高い施策を展開していきたいと考えています。

その他の質問項目
・高齢者の住まいについて

市議会を傍聴してみませんか

- 受付場所 本会議…西館8階 議場受付
委員会…東館7階 議会事務局受付
- 手続き 傍聴受付票に住所と氏名を記入

3月定例会では延べ101の方が本会議を傍聴されました。
次の6月定例会開催日程(予定)は12ページのとおりです。





豊橋市立くすのき特別支援学校

くすのき特別支援学校は、愛知県立豊川特別支援学校の過大規模の解消と東三河地域の特別支援教育の推進を目的として、平成27年4月に野依町に開校しました。

特別支援学校の開校に向けては、議会においても、特別支援学校の設置を求める意見書の提出や調査研究のための委員会を計4回開催するなど積極的に取り組んできました。

この特別支援学校は、豊橋市・田原市の知的障害のある児童生徒を対象としており、学部は、小学部、中学部、高等部が設置されています。教育目標を「一人ひとりの障害、能力・適性等をふまえ、個に応じた指導・支援によって、その子の可能性を引き出し、学校、家庭、地域社会でたくましく生きることのできる人間の育成をめざす」とし、「豊橋市立」としての強みを生かした特色ある学校づくりを推進しています。



3月26日 竣工式の様子

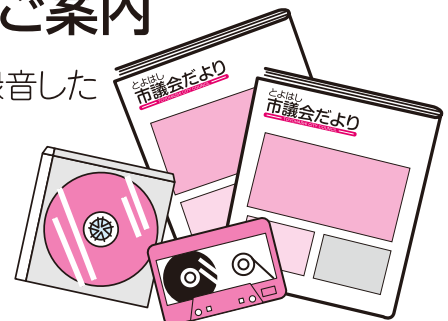
校名・校章になっている「くすのき」は、豊橋市と田原市の市の木で、学校のシンボルツリーにもなっているよ。



点字・声の市議会だよりのご案内

目の不自由な方のために、市議会だよりの点字本と内容を録音したCD・カセットテープを無料でお渡ししております。
ご希望の方は、議会事務局 議事課までご連絡下さい。

TEL 51-2920 FAX 55-9020
gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp



東三河広域連合議会を開催

— 豊橋市議会から7人の議員が出席 —

市町村連携の一層の強化を図り、これまで以上に主体的に東三河の地域づくりを推進するために設置された東三河広域連合の初めての議会が、3月30日に豊橋市議会議場で開かれました。

東三河広域連合議会は、豊橋市選出の議員7名を含む5市2町1村あわせて26名の議員により構成されています。

今回の連合議会では、正副議長の選挙、予算案・条例案などの審議が行われました。




傍聴席から見た議場の様子

6月定例会の開催日程(予定)



会期:6月15日(月)から25日(木)

請願・陳情の締切は
6月9日(火)17時

質問項目のHP掲載日は
6月12日(金)

 はケーブルテレビ、
インターネット中継日

日程は変更になる場合
もありますので、傍聴の
際には議会事務局
(51-2920)までお問い
合わせください。

6月15日(月)	10時	 本会議(一般質問など)	議場(西館8階)
16日(火)	〃	〃	〃
17日(水)	〃	 (質問者が11人以上の場合)	〃
18日(木)	10時	常任委員会(議案審査など)	第2委員会室(西館7階)
	13時	〃	〃
19日(金)	10時	〃	〃
	13時	〃	〃
22日(月)	10時	一般会計予算特別委員会 (補正予算審査など)	第1委員会室(西館7階)
25日(木)	13時	本会議(議決など)	議場(西館8階)

※本会議を含め全ての会議が傍聴できます

編集後記

3月定例会は、平成27年度の予算審査を中心に補正予算など市民の皆さんの暮らしにかかわる予算や多くの議案等を審査しました。近年、地方分権改革が叫ばれており、地方議会の役割と責任はますます重要になっています。

地方政治は二元代表制で行われています。それは、市民から直接選挙によって選ばれた市長の予算等に対し、同じく選挙によって選ばれた議会・議員が市民の立場で審査をするということ。豊橋市議会におきましても議会基本条例を制定し、「市民に開かれた議会」を目指し、積極的な取り組みが行われてきました。議会・議員には常に透明性や公平性が求められています。その意味で、議会・議員に対する市民の厳しい目が求められています。

市議会だよりを通じて市民の皆さんに、より議会を知っていただくとともに声をお寄せいただき、魅力ある「市議会だより」にしていきたいと考えています。

編集委員会委員

杉浦正和
牧野英敏
市原享吾
尾林伸治
星野隆輝

■ご意見・ご感想はこちらへ
gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp